

今週は節分があります。節分といえば、いつもの年なら 2 月 3 日ですが、今年はなんと 2 月 2 日なんですね。124 年ぶりということなので、先生たちにとっても 2 月 2 日の節分は初めてのことです。そもそも節分とは立春、立夏、立秋、立冬という春、夏、秋、冬の季節の変わり目の前日のことです。立春は太陽と地球の位置関係で決まります。毎年わずかな違いが生まれるため、節分が 2 月 3 日以外の年もできるようです。ちなみに、4 年後の 2025 年にはまた、節分が 2 月 2 日になります。そして、今世紀の後半、2057 年から 2100 年の間は節分の日が、2 月 2 日になるのが 4 年に 2 度、あるいは 3 度となり、2 月 2 日の方が多くなるようです。不思議ですね。先生はこの不思議を大切にして欲しいと思います。世の中にはいろいろな不思議がたくさんあります。いろいろな不思議に興味を持ち、深めていくことが勉強です。興味を持ったことから、研究の道に進み、それを職業にする人がいるかもしれません。何事もまずは興味を持つことがスタートだと思うので、いろいろなことに興味を持ってください。節分の行事については給食だよりもものっていたので、また、担任の先生に聞いてみてくださいね。

次に、もうひとつお話をします。緊急事態宣言が出されて、まだま

だコロナウイルス感染症の感染拡大がおさまりません。2月20日（土）の授業はありますが、参観は中止となりました。最近、まわりの学校でも臨時に学校が休みになったり、学級がお休みになったりすることが増えてきました。家族が感染したり、自分のまわりの人が濃厚接触者になったり、家の事情であったり、様々な状況により、長期間、何らかの事情で休まないといけない人が出てきています。

まわりの人が休んでいる間に「何で休んでいるの？」と聞いたり、「コロナにかかるてるんちゃうか？」と噂したりしていませんか？自分が逆の立場であったら、という想像をしてみてください。久しぶりに学校に来てみると、何で休んでいたかをしつこく聞かれたり、そこそと噂をされたりしたらどうでしょうか？嫌であることはみなさんわかってもらえると思います。LINE やツイッターなどの SNS であっても同じです。以前にもお願ひをしました。「そっとしといてあげる」ことが大切です。どうか、休んでいる子へのうわさをしない。久しぶりに学校にきた友だちに、特別な接し方ではなく、休む前と同じように普通に接する。このふたつのことを学級、学年、学校全体でできるよう、よろしくお願ひします。